

杜の伝言板

ゆるるる

特集

復興への道

台言葉は「やっぺす」

●石巻復興支援ネットワーク

一歩前へ進むために

●仙台傾聴の会

被災者に笑顔を！
“花でコミュニケーション”

●NPO法人フラワーセラピー研究会



▲ NPO法人フラワーセラピー研究会



▲ 石巻復興支援ネットワーク

被災した子どもたちへの
学習サポート

●NPO法人アスイク

高齢者施設のネットワークで
いち早く支援活動

●NPO法人みやぎ宅老連絡会

地元NPOと協働で
山元町の支援を続ける

●NPO法人ほっとあい



赤い羽根災害ボランティア・
NPO活動サポート募金助成事業

●みやぎNPOプラザ 新入居団体紹介

アフリカと日本を結ぶ架け橋を目指し活動
～NPO法人 アマニ・ヤ・アフリカ～

台言葉は

「やっぺす」

石巻復興支援ネットワーク

石巻復興支援ネットワークは、石巻市で子どもと環境教育や子育て中の親を支援する活動をしてきた任意団体「子どもと環境を考える会」が母体となり、震災後に「被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト」(つなび)の協力を得て、五月に石巻復興支援ネットワークを立ち上げました。メンバーの十二人は大半が地元のお母さんという構成で、地元の方々にも「やっぺす隊」の愛称で親しまれています。「やっぺす」という言葉は、一緒にやりましょうの意味で、「頑張ろう」や「頑張ろう」という言葉に少々疲れてきた時期に「やっぺす」という地元の言葉を使った活動するようになりました。

震災発生時から空白の三日間

三月十一日、代表の兼子佳恵さんは、中学三年生の息子さんと連絡が取れなまま一夜を過ごしました。息子さんは避難所で泊り、腰まで水に浸かりながらもなんとか帰宅。その第一声が避難所に戻りたい。でした。避難所の大変な状況を目の当たりにし、食料や毛布を持って戻り、助けたいという思いがあったのです。しかし、余震が続き、街中の海水も引いていない状況で、外

に出すことは出来ませんでした。海水が引いた三日後、息子さんは避難所に食料や毛布などを持って行きました。が、「なんでもっと早く行けなかったんだ。もっと早く行きたかった。」と言いました。この息子さんの「もっと早く行きたかった。」といった言葉が兼子さんの背中を押し、石巻復興支援ネットワークの活動の糧になっています。「この空白の三日間を埋めることはできないですが、目の前にある沢山の問題を一つでも解決していきたいと活動をしています。」と兼子さんは言います。



▲代表の兼子佳恵さん

その後は子どもと居場所づくりの支援を行うと共に、石巻市には多くの外部団体や企業が訪れて来ていたためマッチングやコーディネートを行っていただきました。震災後に十回以上の名刺交換をし、多くの団体や企業を繋げています。また、石巻の中高生と阪神淡路大震災の被災地である神戸の学生交流や、震災後石巻市の中高生が中心となって活動している団体 We make Ishinomaki(WMI)の「万本ミサンガ」作りの支援を行うなど、子供の活動支

援を継続して行っています。

仮設住宅でコミュニケーションづくり

八月からは石巻市開成地区の仮設住宅一五〇世帯のコミュニケーション形成の支援を継続して実施しています。「ただイベントを開催することだけが目的ではなく、年齢や男女に関わらず、参加者に偏りが無くなるように心がけています。」と兼子さん。仮設住宅の集会場では、お茶会やミニ居酒屋、将棋やカラオケ、緑台や物置づくり、手芸やメイク、詩吟やヨガ教室などを開催しています。イベントを行うことで孤独死や自殺の予防にもつながり、「参加者が普通の生活に戻っていきけるように自立を促す形を取りながら行っています。」と事務局長の渡部慶太さんは言います。また、集会場での様々な教室も「やっ

▼子どもが気軽に来れる事務所内



てあげる「やっぺす」ということではなく、「一緒にやることで、徐々に住民自らがイベントを企画・運営ができるようにサポートしています。十二月三十一日から一月三日は、鍋を囲んで紅白を見たり、餅つき大会などもする予定です。

復興支援ソング「やっぺす♡石巻」

石巻復興支援ネットワークでは、神戸市のシンガーソングライター石田裕之さんと共同で制作した復興支援ソング「やっぺす♡石巻」のCDを販売しています。この曲は、震災から少しづつ前に向かって進んでいる被災者の姿を描いています。「忘れな

いね、みんなまだはじまったばかりです。いつか元気を返せる日まで。今日も笑顔でやっぺす」という歌詞の通り、石巻復興支援ネットワークは、笑顔で住民と一緒に活動し、地元の団体として長期的に支援を行っています。



石巻復興支援ネットワーク

〒986-0825
宮城県石巻市穀町12-18
石巻駅前ビル4階
●TEL・FAX/0225-23-8588
●E-mail yappesu@ishinomaki@gmail.com
●URL http://yappesu.jimdo.com/



仙台傾聴の会は、地域住民の方々の心に寄り添い、悩みや不安に耳を傾け、心の安らぎを得た生活をおくれるようにと、二〇〇八年に仙台市で設立されました。「話したい」という市民に寄り添いながら、無料の傾聴サロンを毎月開催するほか、高齢者施設等への傾聴ボランティアの派遣、傾聴講座、養成講座の講師派遣を行っています。また、仙台、名取、岩沼市の地域包括支援センターや、社会福祉協議会からの依頼を受け、一人暮らしの住宅を訪問し、傾聴を行っています。

気持ちを打ち明けて

三月十一日東日本大震災後、代表の森山英子さんは、「不安な気持ちを抱えている人がいる。そこで傾聴を行いたい」という思いから、被災地での傾聴活動を決めました。宮城県医師会からの要請もあり、三月

二十一日から津波被害が大きかった名取市の文化会館、名取第一、第二中学校、増田西小学校、館腰小学校その他



▲代表の森山英子さん

▼お茶を飲みながら、語り合う



での一時的な傾聴活動ではなく、これからも継続的に行っていくことが必要だと実感しました。

箱塚桜仮設住宅が完成した、六月からは定期的に集会所で、被災した方の話を聞くお茶会を毎週金曜日で開催しています。自治会長さんの傾聴に対する理解もあって、避難所から仮設住宅への移行に合わせて、活動場所として集会所を借りることができました。現在は、箱塚屋敷仮設、あすと長町、パラスール喫茶、岩沼社協連携でも定期的に活動しています。

避難所で顔を合わせていたことで、仮設住宅に移ってからも訪れて来る人が多くいたと振り返ります。仮設住宅で

仙台傾聴の会

のお茶会は、様々な団体が行っていますが、傾聴の会は専門的な技術を生かし、一生涯懸命がせて頂くことで、気持ちを吐き出し、心の整理をして一歩でも前へ進むきっかけになる場の提供と、自立へ向けての心の支援を目指しています。さらに場を提供することで、同じ場に集まった人同士のつながりが生まれ、新たなコミュニケーション形成の一助になるのではないかと考えています。実際に「こんなことをしたい」という機運が出ています。

十二月十九日、今年最後の箱塚屋敷のお茶会では、傾聴ボランティア七人に、十五人程の参加者があり、思い思いに語り合いました。「傾聴は、皆さんの輪に入るよりは、一対一を意識しています。個別に向き合わなければ、不安な心は埋められないと思うのです。」と、代表の森山さん。

「ここに来れば話ができるし、知り合いにも会えるから、楽しみにしているの。今日もたくさん話ができました。また来年楽しみにしています。」と、参加した方も笑顔で話していました。

継続的支援を、これからも

震災後から、避難所や仮設住宅での活動が多くなり、人手が足りなくなっています。そこで、会ではボランティア養成講座を開き、地元の方が地元の言葉で寄り添い、継続的に関わってもらえるよう、人材育成にも力を入れています。

県外からも手伝いたいという声も多く寄せられました。心のケアは単発的なものではないため、県内で育成することを第一としています。

十月に仙台で開催した講座には、二十人の定員に対し、五十人以上の応募がありました。養成講座を経て、会の活動で実践を積み、経験を重ねながら自己研鑽していくため、大人数の受け入れが難しく、四十人程の受入となりました。震災後から、何かできないかという気持ちを持つた人が増え、これからの支援につながると期待しています。

今後は、仮設住宅の支援に加え、借上げ住宅の人を対象とした名取市交流センターづくりを、名取市、ともだちin名取月刊ゆるるる十二月号掲載と連携して行っていく予定です。

「震災直後から比べると、少しずつ明るくなり話をしてくれる人が増えてきたと思われませんが、まだまだ心の奥には負担があります。話をすることで少しでも気持ちが満たされるよう、これからも継続した傾聴の支援を続けていきます」と森山さんは語ってくれました。



▲1人ひとりに寄り添って

仙台傾聴の会
 〒981-1101
 仙台市太白区四部丸神明45
 ●TEL・FAX/022-343-9705
 ●E-mail moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp
 ●傾聴相談ダイヤル080-3199-4481
 (毎週火・木・土9:00~17:00)

被災者に笑顔を!

花でコミュニケーション

NPO法人フラワーセラピー研究会

花を通して「人と人」「人と自然」の関係を見直し、人の心を癒す活動をしているフラワーセラピー研究会は、東京を本部に全国の二十二地区で高齢者施設や教育の現場などで活動を展開しています。仙台地区は、フラワーセラピストの資格を取得した上野みち子さんが代表となって平成十四年から活動を始めています。

をしています。

現在、仙台地区は、みやぎNPOプラザのショップスペース「キャロプラン仙台」を活動拠点にし、オーストラリアのワイルドフラワーを使った作品を作る体験コーナーがあるほか、会員や代表が作った作品や材料の販売をしています。最近では、「フラワーセラピーボランティアの活動ってどんなもの?」「講師を派遣してもらいたい:~:」といった相談も受けています。

仮設住宅で心のケア

フラワーセラピーで使うのは、西オーストラリアの広大な大地に自生している「ワイルドフラワー」。美しい姿で長時間保存することが出来るようにプリザーブ加工されたものを使用することが多いのですが、野生種の力強さとかくわしい香りに感動を共有し、より深いコミュニケーションも生まれるとが。

主な活動は、高齢者施設での介護予防の福祉レクリエーションとして「フラワーセラピー教室」を開催するほか、フラワーセラピーを学び、ボランティア活動をしたいため「フラワーボランティア養成講座」も開催し、社会貢献の喜びや楽しさを伝え、共通の意識を持った仲間づくり

▼上野みち子代表



の活動をしたいため「フラワーボランティア養成講座」も開催し、社会貢献の喜びや楽しさを伝え、共通の意識を持った仲間づくり

震災後、NPO法人フラワーセラピー研究会として「私たちに出来ること:~:」という思いをこめて、東日本大震災仙台地区活動支援事業「被災地心のケアプロジェクト」を立ち上げました。全国のフラワーセラピー研究会のメンバーが、仙台の活動を支援して、六月から避難所や仮設住宅で「フラワーセラピー教室」を開いてきました。被災者の方が、フラワーセラピーを通して笑顔や元気、そして癒しを得ることで明日へのエネルギーを生み出していただければと、「心のケア活動」を実施しています。

もう地域包括支援センターが主催した仮設住宅での「はつらつ元気さるん」に行き、「お茶をのみながら、一緒にクリスマスリースをつくりましょう!」と、たくさんの方にクリスマスリースづくりを体験してもらいました。この日は、NPO法人フラワーセラピー研究会仙台地区代表の上野みち子さんのほか、東京本部からスタッフ二人が応援に駆け付け、参加者一人ひとりに丁寧に作り方をアドバイスしていました。

参加者は、材料をひとつひとつ手にしながら、作り方を教わり、少しずつ形にしていけます。最初は慎重だった参加者も、時間が経つにつれ、ワイワイ、ガヤガヤ、笑顔が一杯。出来上がったクリスマスリースを見せ合い、「あちこちから可愛い、きれいだ」との声があがり、「来て良かった、すごく楽しかった、手も動かし口も動かし楽しんだ」と、楽しいひとときを過ごしました。

上野さんは、「四~五人のグループで、テーブル中央にある花を分け合い、一丁のハサミを声かけあって交互に使うことで、自然に会話が弾み、なごんでくるんです。最後に自分の作品の出来栄を発表して



▲クリスマスリースづくりスタートです

もううと拍手喝采がおき、大変盛り上がりです。私たちの活動で、参加者の方が喜んで下さり、少しでも元氣を出していただければ」と話し、確かな手こたえを感じる瞬間となりました。

今後も継続して

六月から実施してきた心のケア活動「フラワーセラピー教室」は、実施回数も数十回となっています。実施にあたって上野さんは、行政の窓口を始め、社協や市民センター、NPO法人の方々へ企画の主旨を話して回ったことから、活動は来年三月まで予定が入っています。そして、来年四月からは新たなステップに取り組み、更に活動の拡大を図って行く予定です。



▲できあがった作品の発表会

**NPO法人
フラワーセラピー研究会仙台地区**
〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザ内
ショップ「キャロプラン仙台」
●オープン/原則 火曜~土曜日
10:30~15:00
●TEL/090-9428-4342(上野代表携帯)

被災した子どもたちへの 学習サポート NPO法人アスイク



▲代表理事 大橋雄介さん

東日本大震災後、「津波や地震で使えなくなった学校が多数あり、残った学校にも何十万人という避難者がいて学校再開まで時間がかかるともいれない」という情報提供があったこと、そして時間的な猶予がないのに学習支援を行うNPOなど団体が少ないうえ、被災により動きがとれないという状況を聞き、「誰も動かないのであれば自分で動くしかない」という強い思いから三月二十八日、大橋雄介さんが任意団体アスイクを立ち上げました。

避難所での活動

震災直後の混乱の中、学習サポーター

をどのように集めるのか、避難所にもどるのか、避難所までの移動手段はどうするのか、教材や勉強する場所をどうするのか、ひとつひとつの課題をクリアしなければなりません。「動きながら考えることを大切にしました。また、もう一方で、団体の立ち上げと同時にホームページを立ち上げ情報を発信していくことにも力を入れました。すると自然に必要な人材や支援との出会いが生まれたのです。」と大橋さんは、当初を振り返ります。

変化していく 支援のかたち

六月末頃から避難所が閉鎖に向かい、活動も仮設住宅へと移行していきまし

た。また一から学生ボランティアと個別訪問をして子どもの人数などの情報を集めたり、活動の承認をいただくという作業をしていく必要がありました。現在、仙台市内四カ所、多賀城市一カ所の仮設住宅団地の集会所で継続的に学習サポーターを実施しています。避難所の時の支援との違いは、子どもと学習サポーターの人間関係づくりをベースとした学習サポートをすること、子どもにストレスを与えない、孤独感の解消、被災によって内面に抱えている感情、悩みなどを聞いてあげられる、子どもの変化やサインに気がつきやすいなど学習面だけでなく、精神面でもサポートできるような配慮していることです。

▼学習サポーターとの授業風景



九月からは、みやぎNPOプラザで、借り上げ住宅に入居した子どもたちのための支援「奨学金・個別指導つき学習スペース」も始めました。主に仙台市内にある八千戸の借り上げ住宅に入居する子どもたちを対象とした学習スペースとして開始。十一月からはJR仙石線榴ヶ岡駅の近くに「コミュニティ型学習支援センター」一カ所「Tsuetsuigakka」として生まれ変わりました。このセンターの特徴は、家庭の経済状態に応じて会費を応分負担するという形で、すべての子どもを受け入れること。その他にも、開設時間（十六時）

「後者から支えるのが私の役目」という大橋さんですが、子どもたちが多くの人と交流し、様々なことを学ぶことで大震災を乗り越え、支えてくれた社会の役に立つよう成長してくれることを願っています。これからも活動を続けていきたいと考えています。

二十時半であればいつでも利用できること、大学生だけでなく社会人やシニアなど、多様な市民組織が関わること、たとえば金銭教育など勉強以外の成長機会も提供すること、そして、仮想通貨などを取り入れて、子どもを単なるお客様ではなく、コミュニティの一員にする仕掛けをつくるなど、さまざまな取り組みを行なっています。



▲地域のイベントボランティア

NPO法人 アスイク
 〒983-0852
 仙台市宮城野区榴岡5-3-21
 コーポ小松101
 ●TEL/022-781-5576
 ●E-mail asuiku0328@gmail.com
 ●URL http://asuiku.sendai-net.com

高齢者施設のネットワークで いち早く支援活動

NPO法人みやぎ宅老連絡会

宮城県内の宅老所等を運営している団体の相互の情報交換と介護技術の質の向上を図るためにネットワーク組織として平成八年十一月、みやぎ宅老連絡会を設立し、平成十八年四月にNPO法人を取得しました。宅老所とは一般に、高齢者が住みなれた地域で自分らしく生活できるように、介護保険などの既存制度の範囲では手が届かない人にも対応した福祉サービスを提供している、地域に密着した施設のことです。主に通所介護やお泊りといったサービスを提供している事業所が多く、一般的には民家と同じ位の大きさの施設が大半を占めます。

みやぎ宅老連絡会は県内五十五か所の事業所が会員となっており、介護サービス情報の公表調査事業をはじめ、他の事業所を見学する研修会やフォーラムを実施してきました。

震災直後の安否確認

震災発生時、仙台市宮城野区にある事務所は幸い地震の被害も少なく済みました。事務局スタッフは東松島市に拠点を持つ、当会代表事業所も津波の被害を受けたたろうと思いました。また、会員の中には海沿いの事業所が多

▼右から代表の伊藤さんと事務局の星さん麻藤さん



かった為、被害状況と安否の確認、そして必要な支援をしなければいけないとすぐに地図を広げました。」と震災当日を振り返りました。

その日のうちに被災地の高齢者施設の位置を地図に落とし込み、会員の事業所五十五か所に安否確認を行いました。連絡がついた施設に今必要な支援を聞いた所「食料とカソリン、オムツ等が無くならずです。」という話がありました。各施設は約三日間分の食料等は保管していましたが、震災で利用者の他に地域住民も施設へ避難してきていた為です。県内ではカソリンもなく、食料もないため、県外のいろいろな団体や企業に救援の連絡をしました。

震災から三日間は、各事業所への安否確認や必要な支援の確認と、行政との情報共有、様々な団体への支援要請を

とにかく続けました。その結果、県外のNGO団体が物資の提供をしてくれることになり、三月十六日からは、事務局も訪問し安否確認と物資の提供を行えるようになりました。

必要な支援の橋渡し

その後も、各施設を訪問し物資の提供を行うと共に情報を得て、その情報を素早く行政や支援団体へメールやFAX、電話やTwitter(ツイッター)を用いて発信し続けました。

必要な支援は日に日に変わり、その都度提供してくれる団体や企業を探していたため、多くの支援団体ともつながりを持つようになりました。時には、



▲登米市南方仮設住宅の支援

被災した施設の改修工事中使用できる、仮の施設を用意するため、プレハブを無償で提供してくれる企業を見つけ、提供しました。このように、支援の橋渡しを行って行く中で、物資の提供などの依頼を受けることも多くなり、自然と会員の事業所以外の支援も行うようになりました。

「宅老所はもともと既存の制度から漏れた方々にも、サービスの提供が受けられるようにという思いから始まったので、今回の支援活動も同じです。」と代表の伊藤壽美子さん。現在は復興支援を続けていくうえで、支援から漏れている在宅避難者や独居老人への支援を展開しています。また、各会員介護事業所は、被災した事業所の支援と共に、仮設住宅の支援を行っている団体と協同で物資の支援やイベントの開催なども継続して行っています。

自ら持っているネットワークを駆使して、いち早く安否確認や被害状況の調査様々な支援の橋渡しを続けてきたみやぎ宅老連絡会。被災者に、

どどこかで誰かどつながつているという心強さを感じてもらえるように、今後直接訪問し、じっくりと話を聞き「おもにあゆむ」活動をしていきます。

NPO法人みやぎ宅老連絡会

〒983-0045
宮城県仙台市宮城野区
宮城野1丁目29-6-203
●TEL・FAX/022-291-4770
●E-mail info@miyagi-takurou.jp

地元NPOと協働で 山元町の支援を続ける

● NPO法人ほっとあい

ほっとあいは、大河原町で高齢者ための介護保険事業や移動支援・宅老サロンなどのほか、障がい者のための自立支援事業や軽度生活支援・一時預かりなど、多岐にわたる福祉事業を行っています。

三月十一日の震災時は利用者が十名以上いましたが、年二回実施する緊急地震訓練の経験が生かされ、スタッフが落ち着いて対応したため、大きな混乱はありませんでした。幸い建物に被害がなかったことから、スタッフは早速水や灯りの確保、在宅利用者宅の確認、利用者家族への連絡などに奔走しました。

その夜は利用者四名が施設に泊まることになり、スタッフとボランティア合わせて三名が宿泊して対応しました。翌日以降もライフラインが途絶え、ガソリンも不足する中、先達からの知恵を生かし、訪問介護もスタッフが自車で利用者宅に向かい、対応するなど工夫をし、できるだけ通常の流れを保つことを心がけ、事業を継続しました。不便を強いられ工夫が必要でしたが、それをマイナスととらえるのではなく、様々な業務の見直し
の機会ととらえ、改善につながるように、スタッフと協力しながら努めました。



▲ 代表の渡辺典子さん

たと代表の渡辺典子理事長。四月四日に送迎を再開し、通常業務に戻りました。

日頃の付き合いを 大事にして

三月末から沿岸の被災地の支援に動き出しました。以前から研修などで交流のあった、山元町の渡部孝雄さんは、地域の高齢者が気軽に立ち寄れる居場所（コミュニティサロン）を作るため、三月五日に団体「ふれあいの四季」を立ち上げたばかりでした。その団体の被災状況が心配で問い合わせたところ、居場所となるはずだった場所が津波で流されたことがわかりました。そこで一緒にサロンを開こう！と提案し、「移動ふれあい居場所」を協働で開催することに。

まずは山元町内の避難所に出向き、カフェを開きながら、被災者の生活相談や、被災児童の学習支援をおこなう。その後仮設住宅に移ってからは、毎週日曜日に「移動ふれあい居場所」を開催。現在はふれあいの四季が担っています。

一方、大河原町のほっとあいでは毎週土曜日に開いている「おしゃべりサロンほっとあい」に山元町の被災者を招き、ほっとあい利用者たちと交流する



【おしゃべりサロンほっとあい】で ▶
音楽やおせち作りを楽しむ ▼



取り組みをしています。この「おしゃべりサロンほっとあい」は地域住民が誰でも参加できるサロンで、毎週さまざまな催しを行っています。十二月十七日の「おせち作り」には、五名の被災者の方が参加しました。わいわいおしゃべりをしながら、煮しめ、田作り、錦たまなど六品を作り、最後には全員で味わいました。参加した被災者の方は「仮設住宅で独りであるので、こうして色々な方とおしゃべりで



るのは、楽しい」「初めて参加したが、またぜひ参加したい」など皆さん楽しんでいました。サロンにはふれあいの四季の渡部さんが送迎を行っています。「車が無くても仮設住宅に籠りがちなので、送り迎えをしてもらって参加できるのはうれしい」と好評で、今後も続ける予定です。

大切なのは人の絆

両団体では、被災者は近い将来、仮設住宅を出て自立の道を歩むこともあり、物資や場の提供だけにとどまらず、被災者から直接話を聞き、仮設住宅の代表の方たちと話し合いながら、個別の課題解決や自立に向けた支援を重点的に取り組んでいます。

渡辺さんは、今回の震災を経て多くの方は、自分にとって大切なものは、モノやお金以上に、傍に誰かがいてくれること、思いやり、仲間など、「人と人との繋がりが」ということに気が付かれたと思います。「困っている人を助ける」「お互いに助け合う」など、震災という大きな大きな犠牲の上に皆が学び実践した、この絆を大切に

れることな
く、これから
も繋いでいけ
るよう、心の
支援をつづけ
たいと思いま
す」と強く語
りました。

NPO法人 ほっとあい
〒989-1241
柴田郡大河原町字町279番地1
●TEL/0224-52-8555
●FAX/0224-52-8557
●E-mail hoti@dream.ocn.ne.jp
●URL http://www13.ocn.ne.jp/hoteye/

アフリカと日本を結ぶ架け橋を目指し活動 ～NPO法人アマニヤ・アフリカ～

みやぎ
NPOプラザ
このページは、宮城県からの
NPO関連のお知らせです。



▲職業訓練校



▲代表の石原邦子さん

みやぎNPOプラザの事務室に十月からNPO法人アマニヤ・アフリカ(以下アマニ)が入居しました。団体名はスワヒリ語で「アフリカの平和」の意味。ケニアの明るい未来のために、アフリカと日本を結ぶ架け橋となることを目指して活動している団体です。ケニアのキペラスラム街にあるストリートチルドレンのための小学校「マゴソスクール」に、学費や給食費を支援し、またケニアの若者や障害者が経済的に自立して収入を得られるよう、職業訓練所を開設して技術指導を行うなど、教育支援、経済的自立支援を行っています。

日本国内では、ケニアの生産者が作成したフェアトレード品を販売したり、アフリカの現状を知ってもらおうためのイベントや、現地を訪れるスタディツアーを定期的に開催するなど、活発に活動しています。「現地の人々とともに活動していくとき大切にしていくこと」と、代表の石原邦子さん。

十三年間の活動で培ってきた信頼関係は、東日本大震災でも大きな力となりました。日本で震災が起きたことを知ったマゴソスクールの子どもたちは、アマニメンバーと日本の無事を願って、祈りの歌を作って歌いました。その映像がYouTubeにアップされて話題になり、TV番組でも紹介されたことで、日本全国から支援が集まりました。メンバー及び支援者の方達が各地に情報を発信してくれた効果もあって、震災後、物品販売や寄付等が減少し危機的状況だった財政状況を回復させることができました。

「今まで支援を受けるばかりだったケニアの子どもたちが、



▲マゴソスクール新校舎

自分たちでできることを考えてくれた。支援する側とされる側が一つになったと感じました」と嬉しそうに語ります。

新しい拠点を得て

アマニの活動モットーは「和気あいあいと楽しく」。そのモットーどおりに、赤ちゃんから高齢者まで訪れる事務室は、まるでお茶の間のような、ほっとする空間です。壁や棚にはアフリカの民芸品や洋服が飾られ、床には一面にウレタンマットが敷き詰められて、座って打ち合わせやもぐりぐりができるような工夫があります。「今までは私の自宅で会議をしていたので、プラザに事務所ができて集まりやすくなりました。事務所があることがみんなの誇りになっています」。

今後はフェアトレード商品の開発と販売、被災者支援に力を入れる計画とのこと。事務室を得たアマニ・アフリカの、これからの活躍が期待されます。

「和気あいあいと楽しく」。そのモットーどおりに、赤ちゃんから高齢者まで訪れる事務室は、まるでお茶の間のような、ほっとする空間です。壁や棚にはアフリカの民芸品や洋服が飾られ、床には一面にウレタンマットが敷き詰められて、座って打ち合わせやもぐりぐりができるような工夫があります。「今までは私の自宅で会議をしていたので、プラザに事務所ができて集まりやすくなりました。事務所があることがみんなの誇りになっています」。

自分たちでできることを考えてくれた。支援する側とされる側が一つになったと感じました」と嬉しそうに語ります。

一緒に活動してくれるメンバーを大募集中!

※詳しくは下記連絡先へお問い合わせください。

●TEL・FAX:022-247-4225
●メール:ihfo@amani-ya.com
●HP:http://amani-ya.com/

連絡先

● NPO法人の設立を新しく申請した団体		2011年11月11日～12月10日申請分	
団体名	所在地	活動内容	受理日
It's Not Just Mud(INJM)	石巻市	被災家屋修復等による震災復興事業	11/16
おおさきエフエム放送	大崎市	大崎市におけるFMコミュニティ放送の設立、運営に関する事業	11/18
にじいろクレヨン	石巻市	東日本大震災で被災した子どもたちを中心とした心のケア活動等	11/28
なでしこ	岩沼市	介護保険法に基づく事業(居宅介護支援・通所介護・訪問介護・介護予防等)	12/2
復興わたり・あらはま	亘理郡亘理町	被災地域復興支援事業及びまちづくり事業等	12/6
● NPO法人に認証された団体		2011年11月11日～12月10日まで	
団体名	所在地	活動内容	認証日
日本震災福祉支援協会	仙台市宮城野区	震災被害福祉事業所に対するの援助事業等	11/14
アイファーム	岩沼市	耕作放棄地を利用した市民農園事業等	11/21
結いのところ	宮城郡松島町	老人デイサービスセンター及び児童デイサービスセンター等の運営事業等	11/22
キャットミント	仙台市若林区	災害復興・支援事業等	11/25
地・LOHAS推進会議	仙台市青葉区	第一産業の活性化支援、文化活動の活性化支援及び職能・職種の連携した食・住環境の整備促進	11/30
エバーオンワード	仙台市太白区	保健医療福祉活動に係る人材育成支援事業等	11/30
みやぎみなとまちづくり市民会議	塩竈市	まちづくりに関する総合的企画、運営、マネジメント事業	12/6

宮城県の
NPO法人数

609
団体

2011年12月10日
現在数

※解散、所轄庁変更、認可取消、撤回した団体を除く。

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット
<http://www.niyagi-npo.gr.jp>

みやぎNPOプラザ 〒983-0851 仙台市宮城野区権六町5
TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533
E-mail:npo@niyagi-npo.gr.jp

平成24年度 地球環境基金助成金

平成24年度においては、

- (1)地球温暖化の防止、生物多様性の保全、循環型社会の形成等に資する活動を重点配慮事項とし、低炭素社会の実現に向けた取組や生物多様性条約戦略計画2011-2020(愛知目標)の達成に向けた取組など、特に重点的に支援することとしています。
- (2)また、学校における環境教育の関心の高まりなどを踏まえた環境教育の推進、開発途上地域での環境保全活動に配慮するほか、平成24年度も引き続き東日本大震災・原発事故により被害を受けた被災地における環境保全活動についても配慮事項として、特に重点的に支援することとしています。

※必ず「平成24年度助成金募集案内」をご覧の上、所定の様式でご応募ください。下記ご案内は地球環境基金ホームページよりダウンロードできます。

- 助成の種類: 1)一般助成/先進性や波及効果の高い広域的な活動に対する助成
2)発展助成/これまで地球環境基金から助成を受けたことがない団体を対象とした助成
3)特別助成/平成23年度特別助成(「リオ+20」及び「東日本大震災」に関連する環境保全活動)の内地を受けた団体の2年目の活動に対する助成
- 助成対象: ・国内または海外に主たる事務所を有する民間団体による開発途上地域における環境の保全を図るための活動
・国内に主たる事務所を有する民間団体による国内における環境の保全を図るための活動
- 対象団体: 民間の発意に基づき活動を行う営利を目的としない法人その他の団体
- 助成下限金額: 一般助成・特別助成: 100万円 発展助成: 下限50万円
- 助成期間: 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで
- 募集締切: 1月25日(水) 必着 ※持込は18:00迄
- 連絡先: 独立行政法人環境再生保全機構
地球環境基金部地球環境基金課
〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310
ミュージアムセンター川崎タワー8階
TEL:044-520-9505 FAX:044-520-2190

JCIE東日本大震災復興支援プログラム メットライフアリコ社員寄付 子ども支援プログラム

- 助成対象: 被災した子どもを支援する活動、被災地で子育てに関わる人々の取り組み
※受益者となる子どもは18歳以下を想定。被災地外に避難した子どもも含む
- 対象団体: 日本国内に拠点をもち、日本国内で活動する非営利団体(団体の法人格の有無・種類、活動年数は不問)
- 助成金額: 1件あたり30万~100万円以内(総額1500万円)
- 助成期間: 平成24年度中に行われる活動
- 募集締切: 1月31日(火) 必着
- 連絡先: 公益財団法人日本国際交流センター
JCIEメットライフアリコ 子ども支援プログラム事務局
〒106-0047 東京都港区南麻布4-9-17
E-mail: kodomo@jcie.or.jp

平成23年度 パタゴニア 「環境助成金プログラム」(第2回)

- 助成対象: 具体的な自然環境保護活動
- 対象団体: 環境問題の根本的な原因を見極め、働きかけ、そして長期的な視点で問題解決のアプローチを行なっているグループ

- 助成金額: 20万円~70万円の範囲
※金額は活動内容、用途などにより異なります
※助成実行は締切日の2か月後を目安としています
- 募集締切: 1月31日(火) 消印有効
- 連絡先: パタゴニア日本支社 環境助成金プログラム係
〒248-0006 神奈川県鎌倉市小町1-13-12
TEL:0467-23-8961

2012年度(第7回) 患者会支援 活動資金助成

- 助成対象: ・研修、啓発イベント、交流イベント等、患者会の自立や役員・リーダー・相談員の養成が期待できる活動
・会の再建や緊急体制の整備等、大災害に対する患者会の取り組み
- 対象団体: 患者・患者家族の会、患者会の連合組織・サポート団体等
- 助成金額: 1件あたり上限50万円(総額850万円)
- 助成期間: 1)2012年4月1日~2013年3月末まで(1年間)
2)2012年4月1日~2014年3月末まで(2年間)
- 募集締切: 1月31日(火) 消印有効
- 連絡先: アステラス製薬株式会社 総務部
〒103-8411 東京都中央区日本橋本町2-3-11
TEL:03-3244-5110 FAX:03-5201-6611

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成(第6次)

- 助成対象: 東日本大震災で被災された方を支援するボランティア活動等全般
・緊急救援活動プログラム・生活支援活動プログラム
・復興支援・コミュニティ活動プログラム
※被災地における活動だけでなく、被災者の避難先における活動も対象とします。
- 対象団体: 被災地をはじめ、全国で東日本大震災の被災者への救援・支援活動を行うボランティアグループ、NPO法人、社会福祉法人、学校法人、公益法人等
※任意のボランティアグループや団体等の場合、5名以上で構成されている団体であること
- 助成金額: 活動期間によって異なります
短期(おおむね1ヶ月未満): 50万円以内
中長期(1ヶ月以上): 300万円以内
- 助成期間: 平成23年3月11日から平成25年3月31日まで行われる活動
※すでに終了した活動についても、さかのぼっての応募可
- 募集締切: 1月31日(火) 必着
※第7次以降のスケジュールはHPでご確認ください
- 連絡先: 社会福祉法人 中央共同募金会 企画広報部(助成金担当)
TEL:03-3581-3846 FAX:03-3581-5755
E-mail:support@c.akaihane.or.jp

障害者市民防災活動に対する助成

- 助成対象: 1)障害当事者が中心となる防災活動
2)防災を通じて障害者市民と地域住民とのネットワークがつけられ、日常の活動にもつながる取り組み
3)災害時に障害者支援を行うための具体的な仕組みづくり
4)障害当事者の声を反映した防災の研究活動
- 助成金額: 1事業の限度額10万円
※単年度(1月~12月)で助成額が100万円に達した時点で締め切ります。申請をされる方は、事前に事務局へ確認をお願いします
- 募集締切: 随時受付(ただし、事業実施の3ヶ月以前の申請が必要)
- 連絡先: (特活)ゆめ風基金
〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-14-1
TEL:06-6324-7702 FAX:06-6321-5662
E-mail:yumekaze@nifty.com

- 日 時:1月26日(木) 13:30~16:30
- 場 所:みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講 師:平野由紀子氏(税理士、東北税理士会仙台北支部所属)
- 対 象:市民活動団体の代表・スタッフ、会計担当など
- 定 員:20名(申込先着順)
- 参加費:1,000円
- 主 催:宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 運営・実施:(特活)杜の伝言板ゆるる
- 連絡先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

1/28 2/25 3/24 百年前の古地図で歩く仙台さんぽ

100年前の古地図を見ながら、まち歩き。仙台の歴史に新発見があるかも!?歩いて、見て、学んだあとは、お茶っ飲みながらみんなで語り合い、充実した楽しい時間をお過ごしください。

- 内 容:第5回 1月28日(土)市役所・県庁
第6回 2月25日(土)南町・柳町・北目町
第7回 3月24日(土)八幡町 各回とも13:30~15:30
- 講 師:狩野栄喜氏(仙台市歴史観光ガイドボランティアの会代表)
- 参加資格:おおむね60歳以上の方
- 募集人員:各回10数名(先着順)
- 参加費:1,500円(お茶・菓子つき)
- 申込方法:往復はがきで事務局まで申込。実施日1週間前までに返信します。集合場所・時間等ご確認ください。
- 申込締切:各回とも1ヵ月前より受付開始、2週間前が締切(必着)
- 主 催:(特活)20世紀アーカイブ仙台
- 連絡先:〒983-0021 仙台市宮城野区田子1-11-2 CLIPビル2階
TEL:022-387-0656 FAX:022-387-0651
URL:<http://www.d2.dion.ne.jp/~clip/20thcas.html/>

1/28 アロマde癒しのアンチエイジング体操

アロマの優しい香りのなかで、ゆっくりと体をほぐしながら、アンチエイジングに有効な体操を楽しく行いませんか?ゆっくりとした動きで無理のない柔らかな体操です!

- 日 時:1月28日(土) 11:00~(約40分)
- 場 所:みやぎNPOプラザ 第3会議室(和室)
- 対 象:女性の方ならどなたでも
- 参加費:1,000円(アロマハンドケアオイルのお土産付)
- 持 物:バスタオル※ズボンなど動きやすい恰好でお越しください。
- 申込方法:名前、住所、連絡先、メールアドレスを明記の上、FAXにて申込 ※事前予約制
- 主 催:クーシュの会
- 連絡先:ミニむつき庵「下着とおむつの情報館」
〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
みやぎNPOプラザ内
TEL:022-344-6788 FAX:022-344-6790
E-mail:couches@miyagi-npo.gr.jp

1/29 みやぎの女性と男性“からだ性のホンネ!”

女性、男性それぞれ100名に聞いた、からだ性のホンネについての結果報告です。

- 日 時:1月29日(日) 14:00~16:30
- 場 所:エル・パーク仙台5階セミナーホール
(仙台市青葉区一番町4-11-1 141ビル)
- 内 容:★アンケート結果報告
発表者:村口喜代氏(リプロネットみやぎ代表)
★トーク&トーク
コメンテーター:村瀬幸浩氏(一橋大学講師)

村口喜代氏(リプロネットみやぎ代表)
村山弘治氏(仙台市民)
柴田泰子氏(リプロネットみやぎ会員)

- 参加費:500円(資料代)
- 申込方法:氏名、連絡先(TEL、FAX、またはメールアドレス)を明記の上、FAX、メールにて申込
- 主 催:リプロネットみやぎ
- 連絡先:事務局(村口きよ女性クリニック)
TEL:022-292-0166 FAX:022-292-0167
E-mail:repro@muraguchikiyo-wdclinic.or.jp

2/4 3/10 被災地支援者のためのスキルアップ研修&相談会

震災から半年以上が経過し、被災地の状況やニーズも刻々と変化するなか、見落とされがちなのは、「支援者側」のケアです。長期的なよりよい支援を行っていくためにも支援者側が抱える悩みを共有し、問題解決スキルを身につけるための研修会です。

- 【第4回 2011年度総集編(1)心理的支援編】
- 日 時:2月4日(土) 10:00~17:00
- 場 所:仙台国際センター
- 講 師:若島孔文氏(東北大学大学院 教育学研究科准教授)他
- ファシリテーター:(特活)まなびのたねネットワーク
- 【第5回 2011年度総集編(2)社会的支援編】
- 日 時:3月10日(土) 10:00~17:00
- 場 所:仙台市民活動サポートセンター セミナーホール
- 講 師:佐分利成貴氏(経済産業省) 他
- ファシリテーター:(特活)まなびのたねネットワーク
- 申込方法:下記連絡先までお問い合わせください
- 主 催:(特活)ワールドオープンハート
- 連絡先:〒980-0804 仙台市青葉区大町2-3-12
大町マンション902号室
TEL:090-5831-0810 FAX:022-268-4042
E-mail:world.open.heart@gmail.com
URL:<http://www.worldopenheart.com/index2.html>

2/23 3/7 第29回「サンフランシスコNPOボランティア体験プログラム」教科書にのっていないアメリカ体験

アメリカ西海岸のサンフランシスコ地域で、NPOやボランティアについて学び、マイノリティのアメリカ、貧困、差別など、草の根からの取り組みを体感するプログラムです。「自分が前に向かうためになることをしたい」、そんな思いを持った貴方の参加をお待ちしています。

- プログラム日程:
14日間プラン:2012年2月23日(木)~3月7日(水)
※他に10日間、5日間プランもあります。
(詳細は下記URLからご確認ください)
※現地参加型のため、日本からの移動日程は含みません。
- 対 象:18歳以上
- 定 員:24名(最少催行人数:各6名)
- 参加費:14日間プラン 162,300円(早割)
※プログラム研修費用及び宿泊費のみ
※現地までの交通費や食事代等個人的な諸費用は含みません。
- 申込方法:参加希望用紙を下記連絡先まで郵送、FAX、E-mailにて送付
※<http://www.jpnrn.org/taiken/sanka.html>からオンライン申込も可能
- 申込締切:1月13日(金)
- 主 催:日本太平洋資料ネットワーク(JPNRN)
- 連絡先:(担当:山本(日本)、野原(アメリカ))
TEL/FAX:044-511-8117(日本)
E-mail:akane@jpnrn.org URL:<http://www.jpnrn.org/>

- 主 催: 食育NPO「おむすび」
財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
- 連 絡 先: 財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク
〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45
フォレスト仙台5F
TEL:022-276-5118 FAX:022-219-5713
E-mail:melon@miyagi.jpn.org

1/18 第38回平日ウォーク 日本三景松島の穴場、品井沼を訪ねて

松島町と鹿島台の境界にある元禄潜穴、300年に渡る住民の「水との戦いの歴史」の地です。伊達四代藩主綱村公が干拓を命じた(1800ヘクタールの沼を水田に)大事業。悲劇の地「おまん地蔵」。東宮殿下(後の大正天皇)が汽車を止めた場所、元禄・明治潜穴等を歩きます。

- 日 時: 1月18日(水) 9:42~15:59
仙台駅ステンドグラス前に9:20集合
- 訪問場所: 元禄潜穴、おまん地蔵、穴頭資料館、
どんぐりころころの碑、八幡社、明治潜穴
- 参加費: 一般2,800円、ユースホステル会員2,600円
(交通、保険代等)
- 持 物: 歩きやすく寒くない服装、昼食、帽子、水筒、タオル、
雨具、保険証、現金、ユースホステル会員証 等
- 申込方法: 所定の申込用紙を記入の上、電話、ハガキ、
FAX、メールにて申込
- 申込締切: 1月12日(木) 必着
※締切以降のキャンセルは、キャンセル料
として500円頂きます。
※1月15日以降のキャンセルは全額頂戴致します。
- 主 催: 宮城県ユースホステル協会
- 連 絡 先: 〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-5-1
(財)宮城県青年会館内
TEL/FAX:022-295-1482
E-mail:myh@jn3.so-net.ne.jp

1/20 NPOのための会計・税務相談

日々の会計業務から決算書作成や税金のことなど、NPO会計に詳しい税理士が、ご相談をお受けします。

- 日 時: 1月20日(金) 13:00~17:00
- 場 所: みやぎNPOプラザ
- 定 員: 3団体(先着順) ※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主 催: 宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連 絡 先: みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

1/21 心理療法カウンセリング講座 「思春期の子どもたちへの対応」

3月の東日本大震災は、子どもたちの心に大きな影響を与えています。この問題が長期化・深刻化する前に、私たち大人が、正しい知識で心の面に対応していく必要があります。さまざまな方法を例に挙げてお話しする実践講座です。子どもたちへの接し方について、多くのヒントが見つかるはずです。

- 日 時: 1月21日(土) 13:00~15:30(受付12:30~)
- 場 所: 仙台市情報・産業プラザ ネ！ットU
(仙台市青葉区中央1-3-1 AER6階)
- 内 容: ★講演会「思春期の子どもたちへの対応」
講師: 安川雅史氏(全国webカウンセリング協議会 理事長)

★個別相談会(希望者のみ、要予約) 15:30~16:20
※参加者に「心理療法カウンセリング講座教本」を呈呈

- 参加費: 無料
- 定 員: 120名(定員に達し次第締切)
- 申込方法: 団体名、名前、電話番号、FAX、参加人数、個別相談の
希望の有無を明記の上、電話、FAXにて申込
- 主 催: 全国webカウンセリング協議会
http://www.web-mind.jp/
- 連 絡 先: 第一高等学院 仙台校
〒980-0023 仙台市青葉区北目町1-18
ピースビル北目町3階
TEL:022-265-3606 FAX:022-723-5267
E-mail:sendai-hc@daiichikoto.net
URL:http://www.daiichikoto.net/

1/26 企業とNPOの子育て支援協働推進セミナーin宮城

東日本大震災の被災地では、子ども達の精神的ケアや子育て中の父親・母親へのサポート等、様々な子育て支援が必要となっています。こうした取り組みは、今後継続的に行なっていく必要があり、そのための仕組みづくりが求められています。このセミナーを通じて、企業や行政、NPOがそれぞれの立場で、どのような役割を担い、連携していけばよいか、参加者の皆様と共に考えて輪を広げていきかけたいと思います。

- 日 時: 1月26日(木) 13:30~17:00 交流会は17:15~18:30
- 場 所: エルパーク仙台 セミナーホール
(仙台市青葉区一番町4-11-1)
- 内 容: ★基調講演「子どもの笑顔は地域の宝～親子のストレスケアを考える～」
講師: 本間博彰氏(宮城県子ども総合センター所長、医学博士)
★パネルディスカッション
「たくましい子どもの育ちを皆で支える地域の力」
パネリスト: 竹内礼美氏(日本電気株式会社 CSR推進部社会貢献室)
今野彩子氏(株式会社ユーメディア取締役)
齋藤純子氏((特活)せんだい杜の子ども劇場 代表理事)
坂内玲子氏(宮城県保健福祉部子育て支援課 子育て政策専門監)
コーディネーター: 大久保朝江氏
(特活)杜の伝言板ゆるる 代表理事)
★交流会(希望者のみ)
●定 員: 100名(必ず事前にお申込みください)
- 参加費: 無料(交流会参加の方は1,000円)
- 託 児: 設備あり。(対象は生後6か月以上3歳以下、無料)
ご希望の方は、人数と年齢を申込フォームのメッセージ欄にご記入ください。
- 申込方法: 下記HPの申込フォームから申込
- 主 催: 財団法人こども未来財団
公益社団法人日本フィランソロピー協会
- 連 絡 先: 公益社団法人日本フィランソロピー協会
TEL:03-5205-7580 FAX:03-5205-7585
URL:http://www.philanthropy.or.jp/

1/26 NPOのための会計・税務講座(4) NPOの法人税講座

「NPOと法人税」についての疑問を解決！収益事業を行った場合に発生する税金やそのしくみについて、NPOの会計に詳しい税理士がいていねいにお教えします。寄付税制や震災特例法についても触れます。

か、死ぬとはどういうことか、まさに根源的な問いを突きつけられた。なぜ自分が生き残り、そばにいた人が死んでいかなければならなかったのか。その究極の偶然性を受け入れるほかはない。その偶然性において人びとは寄り添って生きていくしかない。

※山折哲雄氏著書「絆いま、生きるあなたへ」より

- 日 時:1月14日(土) 13:30~(開場13:00)
- 場 所:仙台市シルバーセンター 交流ホール
- 講 師:山折哲雄氏(「絆いま、生きるあなたへ」著者)
※手話通訳があります。
- 定 員:300名(定員になり次第締切)
- 申込方法:電話または下記ホームページから申込
- 主 催:社会福祉法人 仙台的のちの電話
- 連絡先:TEL:022-718-4401 FAX:022-718-4431
URL:http://www6.ocn.ne.jp/~sen/

1/15 SIRA外国につながる子どもサポーター公開研修会 「東日本大震災と子どもたちを支えるための協働」

東日本大震災後、子どもたちの心の安定を図りこれまでの学習を安心して継続できるように支えることが課題となっています。そこで今年度の公開研修会では、「東北子ども支援プロジェクト」による報告を通じて、震災後の外国につながる子どもの実態を参加者と共有すると共に、今後の外国につながる子どもの支援のあり方を参加者とともに考えます。

- 日 時:1月15日(日) 13:30~16:30(受付13:00~)
- 場 所:仙台国際センター3F 中会議室「白樺」
- 内 容:★講演「外国につながる子どもは
～『東北子ども支援プロジェクト』報告～」
講師:川上郁雄氏(早稲田大学大学院日本語教育研究科教授)
★パネルトーク「外国につながる子どもを支えるための市民と学校の協働」
パネリスト:齊藤睦氏(SIRA外国につながる子どもサポーター、指導協力ボランティア)
黒須功太郎氏(仙台市教育局学校教育部教育指導課指導主事)
早坂保文氏(仙台市立八幡小学校校長)
佐藤剛氏(仙台国際交流協会企画事業課課長)
コメンテーター:川上郁雄氏
コーディネーター:菊池哲佳氏(仙台国際交流協会企画事業課主事)
★参加者のミニ交流会
- 参加費:無料
- 申込方法:所定の申込用紙を記入の上、FAX、メール、郵送にて申込
- 主 催:東北子ども支援プロジェクト/仙台市教育委員会/財団法人仙台国際交流協会
- 連絡先:財団法人仙台国際交流協会 企画事業課
〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地
TEL:022-265-2480 FAX:022-265-2485
E-mail:a-kikuchi@sira.or.jp

1/15 みんなつながれ!杜の子まつり あそびの広場 in石巻 芸術パフォーマンス ブッチャーのクラウンショー

親子で楽しめる、日本を代表するクラウン「ブッチャー」のクラウンショーや遊びのコーナーゲームが満載!ジュニア・リーダーとあそぶコーナーもあります。

- 日 時:1月15日(日) 10:30~12:00
- 場 所:石巻河北総合センター(ビックバン)交流ホール
(石巻市成田字小塚裏畑54)
- 参加費:無料
- 主 催:(特活)せんだい杜の子ども劇場
- 連絡先:〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-17-1
TEL/FAX:022-375-3548
E-mail:morinokodomo@s8.dion.ne.jp
URL:http://sites.google.com/site/morinokodomogekijyou/

1/15 2/21 3/18 30~40代女性の語り合いの場 こころと〜く

「こころと〜く」は、震災を経験した30~40代の女子のみなさんが今までの出来事や気持ちを安心して話したり、時にはからだを動かしたりなど、「わたし」をいたわる場です。震災から変わってしまったこと、胸に詰まっていることを話してみませんか?

- 日 時:①「語り合い+ハーブ石鹸づくり」
1月15日(日) 10:00~12:30
②「語り合い+スクラップブック作り」
2月21日(火) 10:00~12:30
③「語り合い+わたしの大切な箱づくり」
3月18日(日) 10:00~12:30
- 場 所:エル・ソーラ仙台 サポートルーム(アエルビル29F)
- 対 象:30~40代の女性
- 定 員:15名
- 参加費:500円(当日支払)
- 託 児:300円(子ども1人1回)
※6ヶ月以上~小学1年まで、先着順
※しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについてもご相談ください。
- 申込方法:下記連絡先まで申込
- 受付開始日:①12月6日 ②1月6日 ③2月6日
- 主 催:財団法人せんだい男女共同参画財団
- 企画協力:おとな女子3040PROJECT
- 連絡先:仙台市男女共同参画推進センター
エル・ソーラ仙台管理事業係
TEL:022-268-8044 FAX:022-268-8045
URL:http://www.sendai-l.jp

1/17 食と環境物語がはじまる旅 ~地産地消の お酒「一ノ蔵」と「冬みずたんぼ」の見学~

大崎市田尻の農家が農業を減らしてお米を育て、そのお米から宮城随一の酒造がお酒を作りました。震災復興のために私たちにできることは、「食べて応援すること」。「地産地消」で地元の復興を応援しませんか?

- 日 時:1月17日(火) 9:30~16:00
- 集合場所:仙台駅西口 大型バス駐車場
- 見学先:株式会社一ノ蔵(大崎市松山千石)
・酒ミュージアム 華の蔵(昼食)
・冬みずたんぼ(大崎市田尻)
- 内 容:★一ノ蔵の環境活動、地元を愛し酒を尊ぶ酒作りのお話と蔵見学
★自然のリサイクル、田んぼの生き物の力を利用して米作りを行う冬みずたんぼのお話と見学
- 参加費:一般2,000円、MELON会員1,500円
(バス代・昼食代・入場料・保険料込)
- 定 員:25名
- 申込方法:氏名(フリガナ)、性別、生年月日、電話番号、住所、一般がMELON会員かを明記の上、電話・FAX・メールにて申込



事業案内



高齢者・介護者生活サポートステーション

病院への付き添い・お世話、身の回りのお世話、買物の付き添い・代行など、介護保険適用外の多様なご要望にお応え致します！

- 料 金: いずれも消費税含む
 - ・会員登録料 3,000円(初回のみ)
 - ・利用料 2,000円(1時間)
 - ・延長料 1,000円(30分)
 - ・自動車使用料 500円(往復1回)
 - ・電話相談 無料
- ※介護保険適用外サービスとなり、全額自己負担になります。
- 主 催: (特活)セージハウス
- 連 絡 先: 〒981-0932 仙台市青葉区木町16-39
TEL: 0120-748-035(土日祝を除く平日8:30~17:30)
URL: <http://www.sagehouse.jp/>



電話相談



子育ての悩み、大震災のこと、グチでも何でも話せる子育て応援ダイヤル「ママパパライン」

子育て中の親たちが子育てに前向きに取り組めるように、悩みや不安を受け止め、傾聴し寄り添う子育て応援ダイヤルです。今年は東日本大震災で被害の大きかった東北に重点を置いて実施します。

- 相談電話番号: 【仙台】022-773-9140 【会津】0242-27-4861
- 日 時: ★ママパパライン仙台
 - 1月16日(月)~1月21日(土) 10:00~16:00
 - 1月30日(月)~2月4日(土) 10:00~16:00
 - ※上記以外は毎週金曜日10:00~16:00に開設
- ★ママパパライン会津
 - 1月23日(月)~1月28日(土) 10:00~16:00
- 主 催: (特活)子どもNPO・子ども劇場全国センター
- 共 催: (特活)せんだい杜の子ども劇場/会津子ども劇場
- 連 絡 先: (特活)せんだい杜の子ども劇場
〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-17-1
TEL/FAX: 022-375-3548
E-mail: morinokodomo@s8.dion.ne.jp
URL: <http://sites.google.com/site/morinokodomogekijyou/>



イベント



毎週水曜 NPOのための法人設立・団体運営相談

NPO法人の設立に関わることやNPOの運営について、お気軽にご相談ください。

- 日 時: 毎週水曜日 13:00~17:00
- 場 所: みやぎNPOプラザ
- 定 員: 3団体(先着順)※要予約。相談時間は1団体約1時間。
- 主 催: 宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連 絡 先: みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)



1/13 金 エコでつながる世界 ~上映会 「セヴァンの地球のなかし方」~

エコは国境・国籍関係なく世界共通のテーマ!! 世界のエコについて知り、海外経験のある方も交えてみんなとワイワイお話しして、自分で出来ること、考えてみませんか?

- 日 時: 1月13日(金) 17:30~20:30(開場17:00)
- 場 所: エル・パーク仙台6階スタジオホール
(仙台市青葉区一番町4-11-1 141ビル)
- 内 容: ★映画「セヴァンの地球のなかし方」
★海外のエコ事情についてグループごとのフリートーク
- 参加費: 一般1,000円、MELON会員800円
- 申込方法: 氏名(ふりがな)、電話番号、メールアドレスを明記の上、下記連絡先まで申込
- 主 催: 財団法人みやぎ・環境とくらしネットワーク(MELON)
- 連 絡 先: TEL: 022-276-5118 FAX: 022-219-5713
E-mail: suzunori13190830@yahoo.co.jp



1/13 金 2/10 金 「パレスチナを知る!」連続学習会

「パレスチナ問題ってニュースで聞くけど、よくわからない」「宗教が絡んでいるの?」などの疑問を持つ方のために、連続学習会を開催しています。合言葉は「パレスチナ問題がわかると、世界のあらゆる矛盾が見えてくる!」。どうぞお気軽にご参加下さい。

- 日 時: 【第9回】1月13日(金) 18:30~20:30
・テーマ: 欧州におけるパレスチナ問題、イスラームとの軋轢
・場 所: エル・パーク仙台 和室2
- 【第10回】2月10日(金) 18:30~20:30
・テーマ: パレスチナ問題の解決は?
・場 所: エル・パーク仙台 セミナー室
- 参加費: 100円
- 申込方法: 下記連絡先まで問合せ
- 主 催: パレスチナと仙台を結ぶ会
- 連 絡 先: (担当: 石川) TEL: 022-251-3106
E-mail: musubukai@yahoo.co.jp



1/14 土 2/11 土 3/10 土 CILたすけっとサロン ウェルカフェ(WelCafe)

障がいを持たれた方々への情報提供や相談、交流ができる場として活用し、楽しい企画も考えています。楽しいひとときを一緒に過ごしましょう。

- 日 時: 1月14日、2月11日、3月10日(全て土曜日) 13:30~16:00
※毎月第2土曜日開催
- 場 所: グッドライフ長町 8階コミュニティルーム
(仙台市太白区長町1-6-3)
- 対 象: 障がいを持たれた方
- 主 催: CILたすけっと
- 連 絡 先: 〒982-0011 仙台市太白区長町1-6-1
TEL: 022-248-6054 FAX: 022-248-6016
E-mail: cil-tasuketto@k6.dion.ne.jp



1/14 土 山折哲雄氏 公開講演会 「いま、生きるあなたへ」

今度の震災によって誰もが、生きるとはどういうこと

のは一部の作品のみとなる場合があります。
 ※受賞作品には賞品をお送りします。
 ウェブサイトもご参考ください。
<http://www.plan-japan.org/topics/news/110315jishin/111019/>

- 投稿締切: 1月16日(月) 必着
- 主 催: 公益財団法人プラン・ジャパン
- 投稿・連絡先: 〒980-0822 仙台市青葉区立町23-16
 プレステージⅡ 2階A号
 TEL:080-3303-6716 FAX:022-268-6818
 E-mail: education@plan-japan.org

PCソフトウェア寄贈プログラム TechSoup Japan

民間の非営利団体が社会問題を解決するために、わずかな手数料でPCソフトを提供する寄贈仲介プログラムです。このプログラムを活用して、ワンランク上の活動を目指しませんか?

- 対 象: NPO法人・公益法人・社会福祉法人
 ※マイクロソフトのソフトに関してはNPO法人のみ
- ソフトウェア提供企業:
 ★アドビシステムズ ★シマンテック
 ★マイクロソフト ★レッドアース
 ※寄贈対象条件、寄贈ソフト、手数料に関してはHPをご確認ください。
- 申請手順: 下記HPからユーザーアカウントを作成し、必要書類の送付と必要手続きを行い申込。
 ※詳細はパンフレット・HPをご確認ください。
- 主 催: (特活)日本NPOセンター
- 連 絡 先: 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1
 新大手町ビル245
 TEL:03-3510-0855 FAX:03-3510-0856
 E-mail: info@techsoupjapan.org
 URL: http://www.techsoupjapan.org

NGO/NPO・企業環境政策提言 平成23年度募集

環境省では、環境政策の立案や実施にあたって、市民・NGO/NPO、企業、行政との連携・協働により課題の解決を図っていくことを目指し、環境政策に関する提言を広く受け、その実現を図る取り組みを進めてきました。このプロセスへの参加により、NGO/NPO・企業の方々が環境政策を自ら考え、政策提案能力の向上につながることを期待します。

- 内 容: 国や自治体を実施すべき政策、あるいは国や自治体がNGO/NPO・企業、市民と協働し

て取り組む政策を提言

【環境省への提言及び国際的課題に対する提言】
 国の制度、法律・税制改正等を通じて実施する政策、国際的な枠組み・取組み等に対する提言
 【地方自治体への提言及び地方自治体で実現すべき提言】都道府県・市区町村で実現すべき政策、自治体単位でモデル事業として実施し、全国に普及すべき政策に関する提言

- 対 象: NGO/NPO及び企業
 ・業界団体や研究所などのシンクタンク
 ・協同組合、労働組合、商工業組合など
 ・NGO/NPOの場合、法人格を持たない任意団体
 ・個人の集まり、企業・地方自治体・大学内のグループ
- 募集内容: 新たに行う政策の提言の他、既存の政策・制度やその運営方法等をより良くしていくための提案について募集する。環境に関することであれば、政策の内容・テーマは特に限定せず。民間の視点から重要だと考えられる政策を募集する。
- 申込方法: 下記連絡先のURLより、申込用紙を入手する
- 申込締切: 1月31日(火) 必着
- 主 催: 環境省
- 連 絡 先: 「NGO/NPO・企業環境政策提言推進委員会」
 事務局(担当: 島田・平田)
 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山B2F(環境パートナーシップオフィス内)
 TEL:03-3406-5180 FAX:03-3406-5064
 E-mail: epo@seisaku-teigen.com
 URL: http://seisaku-teigen.com/

東日本大震災被災地支援 (パソコン寄贈・貸出)プログラム

宮城、岩手、福島で被災した団体及び個人にリユースパソコンを無償で寄贈・貸出します。

- 対象団体: 被災した非営利団体、教育機関に寄贈
- 対象個人: 被災した障がい者、高齢者(65歳以上)、子育て中の主婦に1年間貸出
- パソコン: ノート型及びデスクトップ型
 ★団体: Windows XP Professional、MS-Office2007、セキュリティソフト
 ★個人: Windows XP Home Edition、Open Office、セキュリティソフト
- 募集期間: 2012年3月31日まで
- 主 催: (特活)イー・エルダー
- 連 絡 先: 東北支部 TEL/FAX:022-796-8091
 E-mail: tohoku@e-elder.jp
 URL: http://www.e-elder.jp/tohoku/

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2011.12.16現在) 敬称略

- 正会員41名
- 賛助会員27名
 ★仙台市 ●佐藤光子 ●庄司美枝子
 ★岩沼市 ●NPO法人ホームひなたぼっこ
 ★塩釜市 ●NPO法人高齢者サポートチームしおたが
 ●塩釜花「浜街道」をつくる市民の会
- 情報会員71名
 ★仙台市 ●NPO法人イコールネット仙台
 ●NPO法人シャロームの会
 ●大團神社の山野草を守る会
 ●リンデンバウム
 ★気仙沼市 ●柳希真子 ★亘理町 ●佐藤勉

会員募集

会員種別	年会費
個人正会員	10,000円
NPO正会員	10,000円
法人正会員	20,000円
個人・NPO賛助会員	5,000円
法人賛助会員	30,000円
情報会員	3,000円

郵便口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人 社の伝言板ゆるる (会員申込みの方は、送付欄に会員の職名をご記入下さい)

社の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営やそれに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊ゆるるは、市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

■会員には毎月「月刊ゆるる」が届きます

※正会員以外は、総会での議決権がありません

information

12月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

有給スタッフ

学生インターン募集

震災後から、ボランティア希望者とボランティア団体をwebでつなげる活動を行っています。団体の運営や、被災地に行き、一緒にボランティア団体のヒアリングを実施してくれる長期の学生インターンを募集中です。

- 活動場所: 仙台駅前オフィス(下記連絡先住所)がメイン
週2回程度は石巻などの被災地へ行き、ボランティア団体のヒアリングを行います。
- 参加資格: 仙台市内の大学に通う大学生で、
週2回(3時間以上/日)以上参加できる方
3ヶ月以上長期間参加できる方
- 募集主体: ボランティアインフォ
- 連絡先: 〒980-0021 仙台市青葉区花京院1-1-30
ニューライフマンション花京院1103
TEL:090-8387-9797
E-mail: info@volunteerinfo.jp
URL: http://volunteerinfo.jp

高齢者住宅での出前イベント募集

高齢者住宅(入居者20名弱)に来て下さり、イベントを無償で行って下さる団体や個人を求めています。単発で結構ですが、一度やってみてその後可能であれば、継続でもお願いすることもあります。

- 日時: できれば土曜日に希望
- 場所: ソフィアガーデン仙台・鶴巻
(仙台市宮城野区鶴巻2-2-28)
- 対象: 歌・演奏・演劇・体操・手品・紙芝居など 高齢者の方々が見て喜んで下さるのであれば、基本何でもOK。
- 定員: 1~8名程度
- 報酬: なし ※事情があれば要相談
- 募集主体: (特活)トゥルーハート
- 連絡先: 〒985-0872 多賀城市伝上山3-25-3
TEL:022-365-5872、080-3320-9142
FAX:022-362-9142
E-mail: macchan6sen@khe.biglobe.ne.jp
URL: http://www.42.tok2.com/home/npotrueheart/

仙台短篇映画祭 スタッフ大募集!!

毎年秋に開催している“市民による市民のための映画祭”ショートピースIを一緒に盛り上げてくれるボランティアスタッフを募集しています。年間を通してプログラム企画の立ち上げから当日の運営まで関わってくれる方、大歓迎です。

- 活動日時: 下記連絡先までお問い合わせください
※次回の仙台短篇映画祭は、2012年9月開催予定です。
- 対象: ★年間を通してプログラム企画の立ち上げから当日の運営まで関わってくれる方
★HP作りやデザインに興味のある方

- ★映画制作に興味のある方
- ★昼間、広報活動できる方
- ★会計を担当してくれる方
- 募集主体: 仙台短篇映画祭実行委員会
- 連絡先: 〒980-0021 仙台市青葉区春日町2-1
せんだいメディアテーク7F企画・活動支援室内
E-mail: info@shortpiece.com
URL: http://www.shortpiece.com/
ブログ: http://shortpiece.blog9.fc2.com/

お知らせ

支援物資提供のお願い

仮設住宅の建設が遅れた気仙沼では、やっと避難所を離れ仮設住宅への移住が済みつつあります。ネットワークオレンジでは、震災後、支援物資の提供を定期的に行っており、今後も続けていきたいと考えています。

- 被災地で必要としているもの:
 - ★冬用防寒グッズ(手袋・ブラウンケットなど)
 - ★日常消耗品(各種洗剤や雑貨など)
 - ★野菜(日持ちするもの) ★お米
 - ★冬用下着 ★寝具類 ★湯たんぽなど
 - ※100個単位での提供者募集
- 主催: (特活)ネットワークオレンジ
- 連絡先: 〒988-0085 気仙沼市三日町2-2-15
TEL:0226-22-6723 FAX:0226-29-6884
E-mail: info@network-orange.jp
URL: http://network-orange.jp

世界の子どもたちとつくる 「子どもマガジン」、レポーター募集

子どもたちがレポーターとなって身近なニュースを記事にし、1冊のマガジンにまとめるプロジェクトです。今回、岩手、宮城、福島の子どもたちから集められた記事を中心に、1冊のマガジンを作ることになりました。被災した地域の復興に向けた子どもたちの声を紹介するとともに、子どもたちに「世界とのつながり」を実感してもらうことを目的としています。

- 参加資格: 岩手、宮城、福島の小・中学校～高校生
学校・個人の単位は不問
- 記事のテーマ:
 - 1)「とれたてニュース」町や学校での出来事や行事、活躍した人などの取材やインタビュー
 - 2)「アクションレポート」子どもたちが学校で、町で、地域で行った活動
 - 3)「ゆめタウン」自分の町は大好きだけど、こんな町もあつたらいいな。思い切り自由に独創的な理想の町を描いてみよう※ページの都合上、「子どもマガジン」に掲載される

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業 / 支援の輪をつなぐ子育て応援まつり開催事業

みんなつながり
ゆるる
杜の子
まつり

2/4
土

時間 14:30~17:00 場所 ギャラリーホール

シンポジウム

「子どもの未来」と「復興支援」2012

～アートでつなぐ子どもの笑顔⇒人×地域～

2/5
日

時間 10:30~18:00

場所 ギャラリーホール・スタジオホール・和室・
創作アトリエ・フィットネススタジオ 他

※各コーナーの開催時間は予定です。

あそびの
コーナー

★かえっこパズル 10:30~16:00

※かえっこオークションは13時終了

●いろんな「あそび」工作やアート、団体紹介

★[芸能] 若い企画 13:00~

●ブッチーとさくちゃん&
やまちゃんのクラウンショー

★[人形劇] 人形芝居燕屋 14:30~

●グリムのかぼん

★[舞台劇] 劇団たんぽぽ

●100万回生きたねこ 14:30~と17:00の2回上演

芸能体験
コーナー



ぜんぶ
参加無料

エルパーク仙台
(三越定禅寺通り館)

【主催】NPO法人 せんだい杜の子ども劇場
〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-17-1
TEL/FAX 022-375-3548
<http://sites.google.com/site/morinokodomogekijyou/>
【共催】みんなつながり！杜の子まつり実行委員会

みやぎ
NPO
プラザ

事務室使用団体募集中!!

みやぎNPOプラザでは、NPOや市民活動団体の皆さんに、活動拠点になる事務室をお貸しします。
メンバーがいつでも集まれる拠点を持つことは、組織基盤の強化や活動の発展につながります。
皆さんの熱い想いを実現するため、プラザの事務室を活用してみませんか？
定期的に募集するものではありませんので、この機会をお見逃しなく！見学も随時お受けします。

募集施設

および募集团体数

- 事務室(小・約4㎡)
- 2団体

使用開始および使用期間

- 平成24年4月1日(日)~最長3年
- ※平成24年3月からの使用開始も可。
- その場合の使用期間は平成27年2月末日です。

使用料

- 月額 4,000円

使用開始までのスケジュール

- 募集(申込)締切.....2月17日(金)
- 公開ヒアリング・選考.....2月24日(金)
- 選考結果連絡.....2月25日(土)
- 使用開始.....4月1日(日)

3/1(木)
からの
使用も可

申込方法

必ず「募集要項」の応募団体の要件、入居後の使用条件、
選考の方法などの詳細をご確認のうえ、
所定の申込書と必要書類を併せて、みやぎNPO
プラザまでご持参ください。

※募集要項・申込書はみやぎNPOプラザ窓口、
宮城県NPO・協働社会推進期などで配布します。
また、インターネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>
からもダウンロードできます。